

自分たちが動き出せば、必ず地域は変わる

活動先：NPO法人 地域福祉サポートちた

1. 自分の成長と気づき

「自分たちが動き出せば、必ず地域は変わる」ということを、活動全体を通して、学ぶことができた。

私が活動させていただいた「地域福祉サポートちた」は、中間支援組織であり、実際に利用者の方と関わることが少ないため、自分たちに何ができるのか、長い間考えた結果、自分たちがサポートちたについて理解し、それを様々な人に伝えたいというような、考えにまとまった。そして、「サポートちたの活動内容、周囲とのつながり、関係を理解する」を目標にした。

地域福祉サポートちたは、誰もが望んでいる、地域で自分らしく生き、心豊かに、幸せに暮らしていける、そんな地域作りを目指している団体である。6日間の活動棚間の中で目標を達成するために、様々なイベントや講座に参加させていただいて、どのような事業なのか、また、どのような方々が利用されているのか、実際に自分も市民の方々と一緒に参加し、目で見ることで、理鱈できた。サポートちたは、何かをはじめたい人、やりたくても場所がない人など、市民のやりたいことを応援し、交流・学びの場を提供したりと、活動のきっかけ作りをしている。そして、サポートちたが基になり、NPO同士のネットワークを作ることで、つながりができ、社会への働きかけが強くなる、サポートちた・市民・知多地域の各NPOが協力し合い、より住みやすい地域に変え、地域全体を元気付けている。その他にも、行政・大学・企業などとも情報交換し、ネットワークをつないでいると学んだ。活動をしていく過程で、様々な問題はあったものの、それを乗り越えて、サポートちたでしか学べない、知多地域のNPO全体の連携の強さ・ネットワークを学ぶことができたと思う。

実際に現場を見せていただいた時に、利用者もスタッフもみんなが本当に笑顔で楽しんでいると感じた。また、気軽に利用でき、家庭的で、あたたかい雰囲気が伝わってきた。デイサービスなど、在宅生活が中心であり、地域の中で、規則にとらわれず、自分のやりたいことを楽しみ、自分に合った生活できることが大切だと思った。大規模な施設だけが暮らしではないと感じた。

だれもが地域とつながっていること。だれもが地域の中で暮らしているのだと改めて実感した。そして、だれもが満足した生活ができ、自分らしく生きることが重要である。すべての人が普通の暮らしができることは、地域の中で暮らしごとにつながる。それを実現するためには、地域にあり、身近な存在であるNPOが必要であると思う。地域に住む多くの人々が地域について考え、動き出せば必ず地域は変わる。地域で暮らしていくことにあきらめていた人、困難を抱えている人も、様々な選択肢の中で、自分のニーズに合った、サービスを受け、幸せに暮らしていけるようになることが、地域で暮らすことにつながるのだと思う。

2. この活動を通して見えてきた地域活動や社会課題

高齢者・しょうがい者・子どもを含めたすべての人が、地域の中で安心して、心豊かに生活できるそのような地域づくりが大初である。そのような地域をつくっていくために、自分から何かやり始めようと思った人、やらなければならないことに気付いた人が声に出し、自分から動き始めようと、勇気を出して一歩踏み出すことが大切だと思う。

私は活動の中で、ボランティアを自分から進んでやっている団塊の世代の人、福祉体験で手話を習いにきた小学生・自分たちの手でNPOを立ち上げた人・立ち上げたが何をして良いのか分からない人、これからNPOを立ち上げたいと考えている人など、様々な人と出会うことができた。その中でも特に、NPOを立ち上げた人たちは、何もないところから自分たちの手で、初めから作っていく強さに感動した。声に出すことで、同じ思いを持った仲間に出会い、一歩踏み出して地域に出ることで、色々な人と関わりを持つことができる。そして、ネットワークを築ける。このようなことから、ひとりではできないと諦めていたことでも、周りの人々の協力や瑠瑠が得られるごとに上うて、大きな力となり、様々な可能性が見えてくると思う。このようなことから、地域住民一人一人が地域について考え、動き出し、地域を支えていくことで、地域は成り立っている。「自分たちが動き出せば、必ず地域は変わる」ということを、サービスラーニングの活動を通して強く学ぶことができた。

自分自身が大学2年生になり、サービスラーニングという学ぶ機会があったことで、「NPO」や地域活動にふれ合うことができた。それまでは、NPOの言葉は聞いたことがあったものの、どのような組織なのか全く知らなかった。知多地域には、こんなに数多くのNPO団体があることを知らない人もいるのではないかと。NPOは、すごく身近な存在であり、もっとたくさんの人たちにNPOについて知ってもらいたいと思った。サポートちたで活動をしていて、年配の方は、意欲が高く、楽しんで参加されているように感じた。それに比べて、若い世代の子供たちはどうなのだろうと思った。特に、小学生や中学生の頃から、福祉について、NPOについて知ってもらいたいし、興味を持ってもらいたい。

NPO、学校・市民の方々が協力して、子供たちに伝える機会が増えると良いと思う。

これからは、自分も地域住民の一人であることを自覚して、生活していこうと思う。